

Unit 20 ユニット研修 遠隔教育編

実践遠隔授業（授業づくりと模擬授業）

オンライン授業

【ねらい】
遠隔授業の特性を知り、児童生徒の学習環境や学習効果を考慮したオンライン授業が設計できるようになる

【ポイント】

- ① 遠隔授業を知る
- ② 遠隔授業を設計する

【活動】 実際に遠隔授業を実践してみましょう

岡山県総合教育センター

Copyright 2021 © Okayama Prefectural Education Center

遠隔授業を知る

遠隔授業の必要性

5. 学習指導等
(1) 学習指導
・ICTの活用

児童生徒に家庭学習を課す際や学習状況の把握を行う際にはICTを最大限活用して**遠隔で対応することが極めて効果的であることを踏まえ、**…(以下省略)

教員対象アンケート

休校に伴い、学習のオンライン化に取り組んでいますか？

今後実施予定 21.4%

休校後は実施 51.1%

出典：株式会社旺文社【高校教員の学習・進路対応調査】

学習のオンライン化対応を急速に進めている

引用：新型コロナウイルス感染症に対応した持続的な学校運営のためのガイドライン（令和2年6月5日文科省省通知）～抜粋～

Copyright 2021 © Okayama Prefectural Education Center

遠隔授業を知る（遠隔授業の種類）

同期型 比較 非同期型

同期型 同時双方向型の授業

Web会議アプリを利用

- ・Google Meet ※1
- ・Zoom ※2
- ・Microsoft Teams など

リアルタイムに双方向のやり取りコミュニケーションをとりながら進める**同期型オンライン授業**

非同期型 一方向型の授業

録画配信型
録画された授業動画を視聴
クラウド上で質問や課題の提出

課題配信型
解説付きの課題を受け取り
クラウド上で質問や課題の提出

自学自習型
教材を用いて自習、演習を行う
クラウド上で質問や課題の提出

双方向ライブ型授業

オンデマンド型授業

※1 教育の情報化ユニット研修<GIGA端末導入機編>「unit18 Meetで授業配信」参照
※2 教育の情報化ユニット研修<GIGA端末導入機編>「unit17 Zoomで授業配信」参照

Copyright 2021 © Okayama Prefectural Education Center

遠隔授業を知る（遠隔授業のメリット）

共通

- 感染症リスクの軽減
- 学習機会の確保
- 時間の節約・効率化
- 離島や過疎地の教育に貢献

ICT環境や通信環境の整備 ～プラットフォームの構築～

メリット

同期型

- 対面授業と近いスタイルで授業を行うことができる
- 集中力や緊張感を保ち授業をうけられる
- 教員と児童生徒間の議論や意見交換をリアルタイムで行える

非同期型

- 授業の時間帯にとらわれず、自分のペースで受講できる
- 苦手な科目や難しい単元も、何度も繰り返し視聴できる
- 受信環境（カメラや音声など）に対する負担が比較的少ない

Copyright 2021 © Okayama Prefectural Education Center

遠隔授業を知る（遠隔授業の組み合わせ）

同期型 比較 非同期型

ハイブリッド型授業

異なる授業形態（同期型・非同期型）を授業の目的や学習効果を考慮して実施

ハイフレックス型授業

「同時配信」「対面授業」さらに「オンデマンド」の3つのパターンで実施

融合

新しい「学びの形態」を創造 各学校の実態に応じた計画と実行

Copyright 2021 © Okayama Prefectural Education Center

遠隔授業を知る 教室でリアル授業配信

通常の教室の黒板（ホワイトボード）を利用

※Web会議システムの画面共有機能を使う場合もある

Webカメラ 画像と音を配信
黒板と教師が撮影できるように調整

Web会議用システム
Google Meet
Zoom
Microsoft Teams など

配信用パソコン
配信画面を確認し位置を調整する

必要であれば
三脚
スピーカーマイク
実物投影機
ヘッドセット

遠隔授業の工夫

Copyright 2021 © Okayama Prefectural Education Center

自宅での視聴のルール作りが大切

Web会議用システム 活用法を学校で事前に確認しておく
ヘッドセットの利用も想定されます

GIGA端末 Wi-Fi環境などを使って、インターネットに接続できる端末

教材 筆記具 事前配布プリントや教科別のノート など

Classroom を利用し情報共有

※VDT (Visual Display Terminals) 症候群などの心身の疲労予防を意識する

遠隔授業の約束事

- 1 オンライン朝礼などではカメラはできるだけオン
- 2 マイクは、話す人は「オン」、聞いている人は「オフ(ミュート)」
- 3 リアクションは大きく
- 4 話し終わるときは「以上です」次は〇〇さん、お願いします

遠隔授業の工夫

Copyright 2021 © Okayama Prefectural Education Center

★授業設計上の大切な視点

教育実践の蓄積 × 学びの深化 効果的なICTの利用 = 学びの質を高め 学習活動の一層の充実 授業改善 など

★主体的・対話的で深い学びを意識した設計



「知識伝達型」から「自己探究型」へ

★主体的・対話的で深い学びを意識した設計

■授業内容■ ~主な活動のみ抜粋~
児童生徒は課題を各自で把握、個人の意見を整理、課題解決に必要な個人の体験などをクラス全体で共有。
グループに分かれ課題解決に向けた情報の整理。
グループの解決に向けた意見や考え方をクラウド上で共有されているファイルに入力、グループで発表。
その発表の評価と授業の振り返りを個人で入力。



★主体的・対話的で深い学びを意識した設計



- 1 Classroomとスライドを利用
- 2 Classroomとビデオ会議アプリを利用
- 3 ストリームで意見交流、共有用の発表スライド作成
- 4 発表、相互評価を入力
- 5 振り返り

遠隔授業

Copyright 2021 © Okayama Prefectural Education Center